

平成 29 年度 九州中央リハビリテーション学院
自己点検・自己評価報告書

平成 30 年 6 月 30 日現在

九州中央リハビリテーション学院

学院長 河野文夫

副学院長 高濱照

理学療法学科長 藤井浩一

作業療法学科長 山崎孝文

看護学科長 福山貴美子

介護福祉学科長 野島謙一郎

事務長 石崎聖英

< 目 次 >

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

1-1 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想について

基準2 学校運営

2-2 運営方針は定められているか 2-3 事業計画は定められているか

2-4 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか 2-5 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

基準3 教育活動

3-6 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

3-7 カリキュラムは体系的に編成されているか 3-8 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

3-9 授業評価の実施・評価体制はあるか 3-10 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

3-11 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 3-12 資格取得の指導体制はあるか

基準4 教育成果

4-13 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか 4-14 資格取得率の向上が図られているか

4-15 退学率の低減が図られているか 4-16 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

基準5 学生支援

5-17 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか 5-18 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

5-19 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

5-20 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

5-21 卒業生への支援体制はあるか

基準6 教育環境

- 6-22 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 6-23 防災に対する体制は整備されているか

基準7 学生の募集と受け入れ

- 7-24 学生募集活動は、適正に行われているか
- 7-25 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

基準8 財務

- 8-26 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 8-27 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 8-28 財務について会計監査が適正におこなわれているか

基準9 法令等の遵守

- 9-29 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 9-30 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 9-31 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

基準10 社会貢献

- 10-32 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念・目的・育成人材像については学院のホームページやパンフレット等に掲載し公開されている。また、基本理念についても事務室、教務室に掲示し全教職員が目に見えるようにされている。</p> <p>少子化や大学進学等により入学者数の減少など、専門学校を取り巻く環境は厳しいものになってきている。そのような中で新たな高等教育機関である専門職大学への移行或いは修学年数の見直し等中期的な構想として抱いている。</p>	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎 聖英
--------	-----------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像、特色、将来構想等について

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	基本理念・教育目的は明確に定められている。	特になし	学院案内 ホームページ 学生生活のしおり
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	4	学院案内やホームページに理念・目的を明記し、外部に公にして実現を目指している。	特になし	学院案内 ホームページ 学生生活のしおり
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	理念・目的は根本的なものはそのままだが、毎年学院案内に明記する際、時代に合った内容で補足している。	特になし	学院案内 ホームページ 学生生活のしおり
1-1-4 学校の特色として挙げられるものがあるか	5	学院案内やホームページに特長を明記している。	特になし	学院案内 ホームページ
1-1-5 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	4	新たな高等教育機関である専門職大学への移行、または学科の就学年数の見直し等複数の構想を抱いている	特になし	

*5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学院の基本理念・教育目的・運営方針は、学院案内やホームページなどに明記して、外部に向けて公にしているため整備されている。	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>運営方針 事業計画 意思決定 人事 賃金</p> <p>運営方針はホームページや学院案内等に記載され公開されている。 また、基本理念同様、事務室、教務室等の掲示し全教職員が目に見えるようになっている。</p> <p>学院の運営方針をもとに各学科の年度ごとの運営方針を定めている。 組織運営や意思決定機能については定期的な会議等により適切に運営されている。</p> <p>各種規程については整備見直しを実施。今後時代に即した規程づくりが必要となる。</p>	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎 聖英
--------	-----------	-------	-------

2-2 運営方針は定められているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
2-2-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	5	運営方針は前年度の総評も含め、毎年学科ごとに運営方針を明確にしている。	特になし	学院案内 ホームページ 学生生活のしおり 職員掲示板
2-2-2 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	4	運営方針を基に整備されている。	各種諸規定は時代に伴い一部変更が必要と考える	職員掲示板 (ファイル管理)

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
運営方針は、学院案内やホームページにも掲載して明確に定めている。 また、ホームページには学科ごとに【アドミッション・ポリシー】【カリキュラム・ポリシー】【ディプロマ・ポリシー】を定めている。	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

2-3 事業計画は定められているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
2-3-3 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	4	事業計画（学生募集・広報活動や退学者・留年者対策等）は策定され理事会・評議員会で審議されている。	事業計画は策定されているが教職員への情報の共有を強化していく。受験者数が大幅に減少し始めているため、事業内容をより一層充実するよう努めていく。	理事会・評議員会資料
2-3-4 学校は事業計画に沿って運営されているか	4	各学科とも事業計画に沿った形で目標設定を行っており、前年度の反省見直しも実施している。	情勢によりズレが生じた時の対応が課題となる。	職員掲示板各学科目標 理事会・評議員会資料

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集から広報活動、退学者、留年者の状況等前年度の反省から事業計画を策定し一部可視化されている。 各学科においては年度ごとに目標設定を行いその反省見直しにより新年度の目標を設定し、会議の場で発表を行っている。	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

2-4 組織運営や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	*点検の 進み具 合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
2-4-5 運営組織図はあるか	5	毎年度運営組織図を作成し教職員が閲覧できるように通達もおこなっている。	なし	平成 29 年度運営組織図
2-4-6 意思決定機能は効率的効果的に確立されているか	4	意思決定者あるいは意思決定組織の役割等明確になっている。		組織図 職務分掌 会議議事録
2-4-7 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	4	理事会、評議員会、運営会議、各種委員会等の意思決定組織が存在し、定期的 に開催されている。	開催日時、回数等実情に合わせて改善 していく必要がある	会議議事録
2-4-8 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	4	教職員が共通使用できる専用サーバの 開設により、より早く情報を共有でき効 率的である。		

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
運営組織図は適切に作成されており、学校の目的並びに目標を達成するために効率的なものになっている。また、各学科の職務分掌も作成されてきている。一部職務分掌の見直しも必要に応じて行っている	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

2-5 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
2-5-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	職員に欠員が生じた場合、速やかに募集をかけている。 また、各種研修会等に参加させ、人材育成を図っている。	事務職員の積極的な研修参加（学外）の環境づくりが必要と感じる	各種研修会の証明書 FD委員会計画書 年報
2-5-10 採用制度は整備されているか	3	学校教育法で定められた人員を、欠員が生じた場合に募集している。	教員の専門分野があるため、欠員が生じた際にすぐに採用者が見つかるかが課題となる	
2-5-11 人事考課制度は整備されているか	3	学科の充足率、退学率、個々の研修内容、大学院進学等を考課している	教職員が自己評価しそれをフィードバックする体制づくりが必要	年報
2-5-12 賃金制度は整備されているか	4	給与規定、退職金規程は整備し教職員が閲覧できるように内部公開されている。		給与規定 退職金規定
2-5-13 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	5	教職員情報（名簿）は全教職員が閲覧できるようにシステム管理している	特になし	教職員台帳 非常勤講師名簿

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教職員向けの学内研修（FD）を年に5回実施し教育力の向上を行っている。	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

基準 3 教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>1. カリキュラムについて</p> <p>カリキュラムは業界の人材ニーズレベルに到達するために十分な内容であり、かつ体系的に構成されている。</p> <p>全学科とも教育課程編成委員会を年に2回開催し、外部委員の意見を取り入れている。</p> <p>臨床実習においては臨床実習指導者会議をそれぞれの実習で年に1回開催し外部の意見を取り入れている。</p> <p>2. シラバスについて</p> <p>各学科ともシラバスを作成し、各科目の指導内容、評価方法など年度初めに学生に提示している。</p> <p>3. 授業評価</p> <p>前期および後期末に全科目に対して学生による授業評価を行っている。年に2回学校関係者評価委員会を開催している。</p> <p>4. 教員の専門性</p> <p>各学科ともに教員の専門性レベルは業界レベルに十分対応している。非常勤講師についても専門性の高い人物を選んでいる。</p> <p>5. 成績評価および単位互換について</p> <p>各科目の成績評価方法はシラバスに記載されている。本試験終了後に成績判定会議を開催し成績の決定を行っている。</p> <p>他の高等教育機関との間に単位互換を行う制度がある。</p> <p>6. 目標とする資格とカリキュラムの関係</p>	<p>教育課程編成委員会は当学院の委員3名と各学科の分野で、現在臨床で活躍されている有識者2名の委員とで構成されている。原則として、前期と後期の修了時に開催される。</p> <p>各科目のシラバスには資料や写真、動画を添付する欄があり、学生はそれらをダウンロードすることができる。</p> <p>学校関係者評価委員会は学校に関係している外部の有識者4名よりなっており、学院で作成された自己点検・自己評価を参考にして外部より学校評価を受けている。</p> <p>専任教員においては、専門性のさらなる向上のために学内でFD研修会を月に2回開催している。また学外での学会発表や研修会等には積極的に参加するようにしている。</p> <p>単位互換には明確な基準があり、各学科で毎年新生と転入生数名に対して単位認定を行っている。</p> <p>各学科とも、カリキュラムは資格取得のみならず、卒後に現場で働くための必要不可欠な実践的内容を含んでいる。</p>

各学科とも、目標とする資格を取得するために適切なカリキュラムとなっている。

7. 資格取得の指導体制

理学療法学科、作業療法学科、看護学科、介護福祉学科においては国家試験対策の指導は十分な時間をかけて行われている。

介護福祉学科では、平成32年の卒業生までは卒業と同時に国家資格を取得できる制度ではあるが、今年度より国家試験を受験している。

今年度より1年課程の国際介護学科が新設された。国際介護学科で介護の基礎や介護関連の日本語を勉強し、2年目に2年課程の介護福祉学科へ進学する予定である。合計3年後に介護福祉士の資格をとるというシステムとなっている。

介護福祉学科では、1年から2年に進級する際に、質を保証する意味で進級試験を行っている。

最終更新日付

2018年6月29日

記載責任者

高濱 照

3-6 教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

3-7 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	* 点検の 進み 具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-6-1 教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	5	各学科からアドミッションポリシーが提示されている。 2～4年間の教育課程であり、国家試験合格の基準を上回るレベルに到達可能である。 臨床的な知識・技術・人間性に関しては、臨床実習指導者会議で検討している。	これまで通り、国家試験の分析や臨床現場との意見交換などをきちんと行なっていく必要がある。	シラバス 国家試験分析データ
3-7-2 カリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	5	基礎科目充実、演習科目・実習時間の増加、臨床実習、研究における研究発表・論文作成の流れとなっている。	定期的な見直しが必要である。	シラバス
3-7-3 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	5	臨床実習指導者会議や教育課程編成委員会において外部からの意見を取り入れている。	特になし	シラバス

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムは社会情勢や業界ニーズを考慮し作成されている。毎年教員間で話し合いを行い、最終的には教育課程編成委員会に諮ることで、よりよいカリキュラムへと変更を重ねている。 昨年度より各学科のアドミッションポリシーが提示された。	各学年で演習を多く取り入れ、ディスカッションの機会を多くした。最終学年では研究等にて班活動の時間を長くして自主性が育成されるよう考慮した。

最終更新日付	2018/5/25	記載責任者	藤井 浩一
--------	-----------	-------	-------

3-8 各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-8-4 各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	ボトムアップ方式で単位修得が可能なように適宜見直しを行っており、昨年度から新教育課程に移行した。	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会の意見も聞きながら、今後は、「理学療法士・作業療法士養成施設カリキュラム等改善検討会報告書」に基づき新たなカリキュラム編成を実施し、さらに各科目が、カリキュラムの中で適正な位置づけになるよう努める。	各学科の教育課程一覧
3-8-5 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	5	シラバスを各学科、各科目毎に授業開始前にホームページ等で公開している。	特にない。(現状の継続)	シラバス 学院ホームページ
3-8-6 各科目の1コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	シラバスを各学科、各科目毎に授業開始前にホームページ等で公開しているが、1コマ毎の詳細さについては完璧ではない。	1コマ毎の記載内容の充実を図る。	シラバス 学院ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
シラバスは事前に作成され公開もしているが、1コマ毎の記載内容の充実は、さらなる検討と努力を必要とする。	シラバスに授業のスライドや資料を貼り付け、学生はシラバスよりダウンロード可能となっている。 平成29年度より理学療法学科及び作業療法学科の学生はi-Padを1台ずつ所有し授業で活用することとしたので、より有機的なリンクを考えていきたい。

最終更新日付

2018/4/26

記載責任者

山崎孝文

3-9 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-9-7 学生による授業評価を実施しているか	4	授業終了後に必ず、各科共通の評価表を活用し実施している。また、より細やかに毎回の授業終了毎に評価している。	授業の評価に基づく、学生の学力の向上に効果的に繋がられていない。 ⇒評価項目の見直し ⇒評価時期の見直し	学生の授業評価
3-9-8 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	4	各学科毎、教育課程編成委員会を2回/年開催している。	継続していく。	委員会議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
授業評価は、必ず実施している。学生達の質の変化に評価のみならず、教育方法も修正していく事が急務である。各学科、学年次の到達を目指し、到達できるよう評価の方法も検討していく必要がある。	授業評価に関しては、閲覧可能。

最終更新日付	2018/5/10	記載責任者	福山貴美子
--------	-----------	-------	-------

3-10 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-10-9 学生の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	4	各教員の職務履歴、学会発表数、専門雑誌への掲載数、専門分野の講習会・研修会参加や学生からの評価、臨床現場からの評価など、研修会参加を継続していく。	今後も研究、研修会参加を継続していく	教職員履歴書 年報 学院 HP 授業評価表
3-10-10 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	4	各分野の専門領域を学んだ教員がおりまた、非常勤講師においても臨床での研修会への参加など継続参加が必要である。	教員の研究の推進、研修会への参加などの継続が必要である	年報 学院 HP 学会抄録集 論文掲載雑誌 研修会参加報告書
3-10-11 教員の専門性を向上させるため、外部研修会への参加、学会発表等、学術的取り組みが行われているか。	4	専門分野の研修会参加の機会をみつけ、積極的に参加していく。学院内の研修会としてFD委員会により、年に8回程度の研修を行っている。 各教員の病院での研修や教員研修会、理学療法講習会などに参加して	今後も研修会の参加、学会発表など学術的な取り組み継続していく	年報 学院 HP 学会抄録集 論文掲載雑誌 研修会参加報告書
3-10-12 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	3	教員の教授力の評価体制がない	教授力に関する評価方法を検討する必要がある。	

点検小項目	*点検の 進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-10-13 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	4	学科会議や運営会議、FD研修等にて研修会の報告が行われている。	今後も教授力向上のための研修会に積極的に参加する。	学院案内 学院 HP 学生生活のしおり シラバス
3-10-14 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	4	毎朝の朝礼や学科会議における情報交換を行い、様々な科目では、専任教員や非常勤講師による協業体制をとっている。	さらなる情報の共有化が必要である。非常勤講師を含めた講師会議等の開催も検討する。	学院案内 学院 HP 学生生活のしおり シラバス
3-10-15 非常勤講師の採用基準は明確か	4	厚生労働省の規定規則に従っている。専門性の高い人物を採用している。	特になし。	厚生労働省の指定規則

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
専任教員の人数、資格、専門性、人間性については満足できる状況であるが、教授力についての評価は行われていない。非常勤講師選定の基準は、厚生労働省の指定規則にしたがって選定しており、専門性の高い人材を選んでいる。	年間を通して各自、研修や学会活動など日々、努力をしている。

最終更新日付	2018/5/23	記載責任者	野島謙一郎
--------	-----------	-------	-------

3-11 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-11-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	各科目の成績評価方法はシラバスに記載されている。 本試験終了後に成績判定会議を開催している。 各教科の難易度については学科会議にて検討している。	特になし	学則 シラバス 成績認定会議議事録
3-11-17 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	5	入学時に提出された成績証明書およびシラバスをもとに単位認定会議で決定している。	特になし	学則 単位認定会議議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・単位認定の基準は明確である。各教科の難易度、評価の客観性については定期的に検討している。 他の高等教育機関との間の単位互換は適切になされている。	

最終更新日付	2018/5/25	記載責任者	藤井浩一
--------	-----------	-------	------

3-12 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-12-18 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	5	各学科で目標とする資格はカリキュラム上でも明確に定められており、かつ国家試験受験資格を十分満たしている。	特になし。（現状の継続）	学則 教育課程 シラバス 学院案内 学院ホームページ
3-12-19 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	5	国家試験受験資格について基礎科目から専門科目まで厚生労働省の指定規則を十分満たしている。 また、各学科で基幹の国家資格以外に福祉住環境コーディネーター、認知症ライフパートナーなどの資格取得もカリキュラムの中で目指している。	基幹の国家資格及びその他の資格取得についても、教育内容が十分か適宜検討を図り、改善していく。	教育課程 シラバス

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
国家試験の動向も注視して、適宜検討と見直しを図ってきた。 今後は、これに加え学生の状況に照らして、可能なら関係資格の充実を検討していく。	各学科の国家資格取得に加え、関係資格の習得にも力を注いでいる。

最終更新日付	2018/5/26	記載責任者	山崎孝文
--------	-----------	-------	------

基準 4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>1. 国家試験合格率について 今年度の各学科の国家試験合格率（新卒）は以下のとおりである。</p> <p style="margin-left: 40px;">理学療法学科：75.3% 作業療法学科：76.7% 看護学科：92.2% 介護福祉学科：95.4%</p> <p>国家試験の対策としては、理学療法・作業療法学科では、10月上旬から、まず基礎科目である解剖生理学や運動機能学等の復習を徹底して行った。その後専門科目全科目のまとめを行った。いずれもグループで勉強を行った。学生より希望があった科目については専任教員が特別講義を行った。</p> <p>また模擬試験を行い、成績不良者に関してはマンツーマンで指導を行った。勉強の進度に合わせて、学内で作成した模擬試験と業者より購入した模擬試験を行った。</p> <p>看護学科では各年度で保護者会を行っているが、それに加えて国家試験前には3年生全員に対して保護者を含めた三者面談を行っている。さらに成績不振者には個別指導を行い、状況によっては再度三者面談を行った。</p> <p>介護福祉学科では卒業とともに資格が取れるが、今年度より国家試験を受験した。</p> <p>2. 進級率向上への取り組みについて</p> <p>以下に進級率の低い1・2年生の今年度と昨年度の進級率を記す。</p>	<p>国家試験合格率全国平均（新卒）</p> <p style="margin-left: 40px;">理学療法士：87.7% 作業療法士：85.2% 看護師：96.3% 介護福祉士：70.8%（全国）、88.0%（養成施設）</p> <p>今年度は理学・作業療法ともに合格率が全国平均を下回った。国家試験対策は昨年より半月ほど早く開始したが、逆に学生に期間的な余裕を持たせすぎて、出だしの取り組みに真剣みが足りなかった。さらにグループ活動がうまく機能しておらず個別の勉強時間が長くなったため、学生の成績の伸びが少なかった。</p> <p>このことを反省点として、来年度は国家試験合格率が全国を上回るように指導を行う。</p> <p>看護学科も国家試験合格率が全国平均より少し少ないので、来年度は合格率が全国平均を上回るように指導を行う。</p> <p>介護学科は今年度初めて国家試験を受験したが、合格率は全国平均を大きく上回った。来年度は今年度の国家試験対策を参考にして合格率100%を目指す。</p>

		今年度 (%)	昨年度 (%)	
理学療法 (昼)	1年	87.8	80.2	
	2年	86.3	89.2	
理学療法 (夜)	1年	80.0	69.7	
	2年	100	97.1	
作業療法	1年	77.8	83.7	
	2年	89.5	94.1	
看護学科	1年	86.9	88.0	
	2年	90.4	90.1	
介護福祉学科	1年	90.9	92.3	
	2年	87.5	100	
国際介護学科	1年	83.3		
<p>理学療法学科は昼夜ともに昨年度と比べ進級率が向上した。他の3学科は昨年度より少し低くなっている。</p> <p>理学療法学科では、再々試験の前に復習会を行ったのが効果があったものと考えられる。</p> <p>他に欠席遅刻連絡システムも効果があったと思われるが、作業療法学科の進級率が下がっているので何とも言えない。</p> <p>今年度から理学・作業療法学科では、ipadを用いたICT教育を行っているが、進級率向上への貢献度は不明であり、あと何年か継続してみる必要がある。</p> <p>国際介護学科が今年度から設立され、6名（ベトナム4名、ネパール2名）入学し、5名卒業した。ネパールの1名は後期の途中で退学した。この1名は深夜のアルバイトを規定時間を超えてやっていたので、出席日数が不足し退学となった。</p>				<p>欠席遅刻連絡システムとは、学生が欠席した場合に、欠席を知らせるメールが学生本人、保護者、担任の3人に届くシステムである。一昨年度に理学療法・作業療法学科に導入した。</p> <p>理学・作業療法学科の新入生は全員ipadを持って、授業中に使用している。科目としては、まだ解剖学で解剖用のアプリケーションを使用する程度であるが、シラバスに提示されている資料や写真、動画はすべて授業中に見ることができる。</p> <p>卒業した5名は介護福祉学科の編入試験を受けて全員合格しており、来年度は介護福祉学科へ進学することが決定している。</p>

最終更新日付	2018/6/29	記載責任者	高濱 照
--------	-----------	-------	------

4-13 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
4-13-1 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	実習先などの病院・施設の人事担当者、学生が直接面談出来る就職説明会を本学にて2度実施している。キャリアサポーターによる履歴書添削や面接練習を行っている。	学生の職業意識が希薄な傾向が見られるため、学生それぞれに合った就職先の提案が出来るよう、教員との面談を行い、日頃より意識付けが必要である。	求人票一覧 教務ソフト、ホームページなどの求人情報
4-13-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	各年度の就職情報を教務システムに入力し、情報管理している。	卒業生の離職・転職等の情報も入手し、今後の就職活動に活用する。まだ卒業生の情報において集約されていない。	学院案内 教務システム 保護者説明会資料

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
実習先を主に年2回の就職説明会を実施し、担任や就職担当職員による個人面談を実施し、就職活動のサポートを行っている。また、最終学年だけに限らず、就職に関する講話を聞く機会を他学年でも設けている。	求人票は都度 Web へアップロードし、学生へ情報配信している。実習中でも情報端末から求人票を閲覧出来る。また、各病院・施設のパフレット等をファイルングし、より詳しい情報を得ることが出来るよう図書室に就職情報コーナーを設置している。

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

4-14 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
4-14-1 資格取得率の向上が図られているか	4	国家試験の合格率が低下した ・理学療法学科：75.3%（全体 75.0%） ・作業療法学科：76.7%（全体 74.2%） ・看護学科：92.2%（全 92.2%） ・介護福祉学科：95%（今年度から） 国家試験対策自体は、年々充実させてきたが今年度今一步結果に繋がらなかった。（各学科にて分析済み）	各学科の修業年数に違いはあるが、国家試験対策だけで全員合格を目指す事は不可能に近い為以下のような指導を行っている ⇒・学力の低い学生に対する個別学習指導（学習方法の提示と理解度チェック） ・リトライ学生への国試対策実施	・国家試験合格率
4-14-2 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	把握している		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学科、入学時における学生達の学力（学習習慣も含め）は個人差があるものの明らかに低下している。国家試験の傾向も変化しており、これまで同様「全員合格」に向け色々工夫を凝らし取り組んだ。しかし今年度の結果は厳しいものだった。同時に原点に戻り、学生達の日々の授業の理解がいかに重要か思い知らされた。学んだ経験の浅い学生達はモチベーションも低く、関わりがとても難しい。日々の教育方法の改善のみならず、教員と学生の信頼を深め、確実な資格取得にむけとりくんで行く。	

最終更新日付	2018/5/10	記載責任者	福山貴美子
--------	-----------	-------	-------

4-15 退学率の低減が図られているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
4-15-3 退学率の低減が図られているか	3	成績の確認や出欠状況を確認し、担任・学科長が学生と個別に対応をしている。場合によっては保護者とも面談を行っている。また、経済的支援（奨学制度等）も紹介している。 出席状況は保護者へもメール配信を行い、情報開示を行うことで、家族での意識改善を図っている。	退学の理由は多岐に渡っていることと、多重であることから、全ての問題解決は困難と思われるが、早期の情報収集や対応を行う必要がある。	年報 学科会議議事録
4-15-4 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	3	朝礼や学科会議で常に学生の現状報告があり、全教員が把握している。退学に関する状況は事務部より全員にメール配信されている。	特になし	年報 学科会議議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全教員で退学者数の低減に向けて努力している。しかし、退学の理由は経済的、心理的、家庭的な問題を含め多岐にわたるので、すべてに対応することは困難であるが、できる限り学業が続けられるように支援している。	常に個別面談ができる環境をつくっており、担任、学科長と面談をする。また、保護者への連絡も随時行っている。

最終更新日付	2018/5/22	記載責任者	野島謙一郎
--------	-----------	-------	-------

4-16 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
4-16-5 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	5	在校生の活躍は学科会議の報告にて把握している。卒業生は同窓会、学会誌、職場等の情報をもとに把握している。	特になし	教員会議議事録 年報 学院案内 学院 HP
4-16-6 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	5	在校生は専修学校体育大会で表彰された。 卒業生においては各学会等での発表を積極的に行っている。	特になし	教員会議議事録 年報 学院案内 学院 HP

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
社会的評価については高等学校・卒業生・臨床現場等からの意見をもとに把握している。卒業生においては学会発表数の増加が目立っている。	

最終更新日付	2018/5/25	記載責任者	藤井浩一
--------	-----------	-------	------

基準5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>1. 学生の相談に対する対応</p> <p>学生の生活相談には担任が対応する。担任が解決できない場合は他者に依頼する。たとえば、学業に関する相談には、その教科の担当教員に指導を依頼することがある。</p> <p>また、心理的な疲労や精神的に異常が生じた学生には学院専用のスクールカウンセラーに依頼する。方法としては、学生本人が直接カウンセラーに相談する ようにしている。</p> <p>2. 保護者への連絡</p> <p>全学科とも入学式の日に入生の保護者会を行い、前年度の実績や新入生の年間スケジュール、時間割などについて説明を行っている。</p> <p>授業開始後、欠席が多い学生や小テスト等の成績不良の学生には、場合によっては保護者、担任、学科長を含めた4者面談を実施 している。</p> <p>全学科とも前期末と後期末には成績表を保護者宛に送付している。</p> <p>看護学科では各学年ごとに保護者会を設けて、全学生の保護者と面談を行っている。さらに成績不振の学生には個別に三者面談を行 っている。</p> <p>各学科とも、学生の欠席が多い場合や成績不良の場合は、できるだけ早期に保護者へ連絡し、状況次第では三者面談を行うようにしている。</p> <p>3. 国際介護学科では保護者が外国ににいるので、学生本人とのやりとりだけになる。担任が朝と夕にホームルームを行い、学生との情報交換を密にしている。</p> <p>4. 卒業生との関わり</p> <p>卒業と同時に全員「同窓会」に加入している。年に数回、同窓会主催で</p>	<p>学生が自主的に相談に来るとは限らないので、担任は学生の状況を把握し、欠席が多い学生や成績不振の学生には声をかけるようにしている。</p> <p>理学療法・作業療法学科では、学生が欠席や遅刻をすると、メールが保護者の携帯に届くようなシステムになっている。</p> <p>情報を提供するときは、言葉だけでは伝わらないことが多いので、必ず文や表を渡し、ラインを使って情報を送ることが重要である。</p>

勉強会が開催されている。卒業生の研究で学院の研究機材を使用することもあり、研究内容の相談も受けている。

また、国家試験に不合格だった卒業生は学院の部屋や図書室を利用して勉強することができる。

さらに、10月からの4年生の国家試験勉強に参加して、一緒に勉強するようになっている。授業料は不要である。

最終更新日付	2018/6/29	記載責任者	高濱 照
--------	-----------	-------	------

5-17 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
5-17-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	病院施設とのマッチング、求人情報の即時配信、個人相談など学生に対し細やかな就職指導を行っている。	就職情報にアクセスしないなど学生自身の就職への意識が低い。教員による日常的な指導を強化し、主体性を持った就職活動が出来るよう促す。	教務システム 学校基本調査 看護師等養成所報告管理システム 求人票一覧
5-17-2 就職に関する説明会を実施しているか	4	年2回（7月・10月）長期実習の間で実施している。	説明会において学生の積極性が欠け、学院側の指示により動く傾向がある。自主的な取り組みが出来るよう日常的な指導・サポートが必要である。	年報、年間行事予定表
5-17-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	4	学生からの申し出があった場合に、実施している。	履歴書の書き方や接遇などの一般常識マナーにおいて、学生間で理解度の差がある。指導に加え、日頃より、教員・職員が規範を指していく。	なし
5-17-4 就職に関する情報を学生に迅速に提供しているか	5	クラウドサービスを利用し、迅速に求人情報を配信している。	配信される求人情報に対する、学生の関心度が低いためアクセスしないことがある。積極的に施設・求人情報を得るよう、促す必要がある。	ウェブシラバス

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
求人票は迅速に-googleサイトにアップロードし、携帯情報端末から自由に閲覧できるように管理している。また、病院・施設の人事担当者に来院していただき就職説明会を実施している。希望する就職先がある場合は、担任やキャリアサポーターによる就職相談、履歴書の添削や面接指導など、個別指導にて対応している。	学校の増加などにより、就職の競争が激化すると考えられる為、できるだけ早い時期から取り組み、就職に関する考え方や履歴書の書き方、面接指導など、更に徹底した個別指導が求められる。

最終更新日付	2015/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

5-18 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点 検の 進み 具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
5-18-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5	①担任制の導入（学科により副担みも導入） ②学生からのメール相談、電話相談、来室相談に対応できるスクールカウンセラーの導入	特にない。（現状の継続）	職員名簿
5-18-6 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	5	学生からのメール相談、電話相談、来室相談に対応するスクールカウンセラーがいる。	特にない。（現状の継続）	職員名簿
5-18-7 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	5	国際介護学科を開設し、留学生（ベトナム籍、ネパール籍）が6名入学した。担任制をとり、毎日の連絡ノートの提出や随時、個別面談を行い相談できる環境がある。	次年度、2期生が入学し留学生が増え国籍も様々になる可能性があるため、更なる対応を検討する必要がある。	学科会議 留学生受け入れのための実践ガイドブック 入国管理局資料
5-18-8 保護者と適切に連携しているか	5	①各学科 欠席・遅刻等が続いた学生については、担任から連絡を入れ情報交換を実施、また理学療法学科及び作業療法学科については、学生の動向（欠席・遅刻・早退）を知らせるメールが保護者携帯に届くシステムを確立している。 ②各学科 定期的保護者会の開催 ③各学科 前期・後期成績不良学生について保護者召喚	特にない。（現状の継続）	保業者連絡システム

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者との連絡については、必要十分の措置が出来ている。	欠席・遅刻・早退連絡メールシステムの構築

最終更新日付	2018/4/26	記載責任者	山崎孝文
--------	-----------	-------	------

5-19 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
5-19-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	5	学生との個別面談や、保護者との面談で、ある程度の経済状況は把握している。学院独自の特待生制度や後援会特待生、授業料免除制度を導入している	教職員間での情報の共有。	学生調査書 会計記録（学納金） 特待生一覧 年報
5-19-10 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	5	学費分割納入制度（一括、二分割、十分割）をはじめ、複数の支援制度を設けている。		学院案内パンフレット 会計記録（学納金） 年報 特待生一覧

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の経済的側面に対する支援は万全である。	他校にはない十分割での学納金納付や家計が急変した学生を支援する授業料免除制度、その他複数の学院オリジナル制度がある。

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

5-20 学生の健康管理、生活サポートを担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
5-20-11 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	5	毎年健康診断は行っている。また各学科の建物に、保健室が設置されている。さらに、スクールカウンセラーによる学生相談もおこなっている。	今後も学生の心と体の健康管理に十分留意し支援を行う。	健康診断票 学院案内 学生生活のしおり
5-20-12 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	5	各担任を主として、相談等があれば医師免許・看護師免許をもつ教職員が対応する。	今後も学生の相談に対応できるよう職員全体で支援していく。	学校基本調査 各教員の履歴書(免許) 学生生活のしおり
5-20-13 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	4	毎年学生団体設立・内容変更届と所属者一覧を提出させて、顧問の各教員が把握している。 また、金銭面では後援会からの支援がある。	運動場を整備し、活動の場所として提供している。 しかし、部室等の支援が課題である。	学生団体設立・内容変更願 学院外活動申請書 学生生活のしおり 学院案内
5-20-14 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	学院として学生寮は運営していないが、留学生に対してはアパートの斡旋、支援を行っている。	今後は留学生だけでなく遠隔地出身の学生に対してもアパートの支援を行いたい。	学生調査書 教務システム【学籍管理】

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の健康管理は、毎年健康診断をしており、各学科担任制をとっていることで学生の心配事や健康相談などにすぐ応じることが出来ている。 また、スポーツ活動等における支援体制もクラブごとに登録をさせるため、各顧問が把握でき支援出来ている。	

5-21 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
5-21-15 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	4	学院として一つの組織として各学科合同で運営されている。また、卒業と同時に新会員として運営に参加していくしくみもできている。同窓会総会での研究発表の実施。	入会までは在学期間に手続き等踏まえ確認しながら進めているが、その後の連絡や活動が今一つ盛り上がりにかけている。 ⇒・総会での周知・学科毎に教員も窓口として担当する・会報の作成・就職後の施設内での組織創り	・総会記録
5-21-16 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	4	整備されており、機能している。	再就職や相談等に関して随時対応できている。 一方、学術的支援については学科毎に差があり、看護学科・介護福祉学科は課題である。 国家試験不合格者のフォローについて個別対応を行っている	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学科内における卒業生に対する支援は、年々確実なものとなっている。一方、全体としての活動の差は否めない。学科毎の在学期間も異なり、同窓意識に違いが生じることは、理解できなくもない。今時の若者の特性を踏まえ、まずは、在学期間で仲間意識を育て、また各学科の専門性を尊重しながらも学科の枠に縛られない長期的な関係創り、しくみ創りを目指す必要がある。	

最終更新日付

2018/5/10

記載責任者

福山貴美子

基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設・設備に関しては教育上十分対応できるよう整備されている。備品等に関しても定期的に破損状況を確認し不備があれば修理、購入等を行い授業に支障が無いよう対応している。</p> <p>防災に対する体制ではマニュアル等の整備はできている。あとは訓練等を実施し不備な点があればマニュアル等の見直しが必要である。</p> <p>教育に関係する施設・設備について整備されている。</p> <p>学外実習はカリキュラムに定められており、外部の実習病院・施設との連携も十分になされている。今年度も学外実習は、カリキュラム通りに実施されている。</p>	<p>1号館では夜間部の授業があるが、夜間帯は事務室に1名、教員が2～3名と少人数になるため、災害発生時において教職員のみでは迅速な対応が取れない恐れがある。学生にも消火班、避難誘導班を各2名程度決めており、災害発生時には、消火班は初期消火、避難誘導班はクラスの学生を避難場所まで誘導させ、教職員は119番通報並びに消火に専念できる体制をとっている。</p> <p>1号館、2号館には各階に非常電話機を設置（1階火災受信装置と連動）し火災発生状況を速やかに報告できる体制をとっている。</p> <p>実習前には実習指導者に学院へ来ていただき、実習指導者会議を実施している。</p> <p>実習中には、実習病院・施設を必ず1度は訪問するようにしており、実習先とのコミュニケーションも十分にとれている。</p>

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎 聖英
--------	-----------	-------	-------

6-22 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
6-22-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	設置基準・関係法令に適合するよう整備されている。	開設当時の設備に関しては作動状況を確認し購入を含めて計画的な整備が必要。	備品台帳 学院案内 学生生活のしおり
6-22-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	4	毎年学科ごとに設備・備品等の点検を実施している。また、日常的に巡回しその都度必要な整備をしている。	今後も毎年点検を行い、メンテナンス体制を整えていく。	巡回日誌
6-22-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	3	校内の施設・設備については、常に最良の状態に保てるように定期的に必要な点検・修理を実施している。	計画的に予算に盛り込んで更新・新規購入を実施する。	学院案内

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備は、中長期的な計画や使用頻度に基づいて、教育上の必要性に十分対応できるよう順次整備を進めている。	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

6-23 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
6-23-4 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	5	各種マニュアルは整備されていて教職員の役割分担も決められている。		防火管理規定 校舎管理規定 緊急連絡網 学生生活のしおり
6-23-5 災害時、迅速な学生・教職員の安否確認体制は十分か	5	学生用のメールシステムを使用し、災害時の安否確認が取れる体制はできている。教職員については緊急連絡網を活用。	一部の学生については学院のメール受信設定が出来ていないものもいる。連絡のない学生に対しては担任から直接電話し安否の確認を行っている。	教務システム
6-23-6 実習時等の事故防止の体制は十分か	4	実習前に学生に対しての説明を実施している。実習先での事故に対する保険にも加入		学生保険関係書類
6-23-7 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	4	火災保険等は加入している。学生に対しては学内での事故災害に対して対応できる保険に加入		学生保険関係書類 火災保険証
6-23-8 防災訓練を実施しているか	4	定期的に防災訓練を実施している。その際に消防設備等の専門家立ち合いで実施。	建物が3棟あるため相互の連携を図る訓練と夜間時を想定した訓練が必要	防災訓練実施記録

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令点検を委託し実施している。消防訓練のほかに授業の一環で学生に対して広域防災センターにて防災に関する知識を習得している。	1号館では夜間部があるため、夜間帯教職員は少人数になる。そのために各階の消火栓の中に非常用電話を設置し、火災発生状況を速やかに1階事務室に報告できるようにしている。2号館にも同様に消火栓内に非常用電話を設置。

最終更新日付

2018/5/31

記載責任者

石崎聖英

基準7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集に関しては、高等学校の進路指導の先生を訪問し募集活動を行っている。各種ガイダンスへの参加や高校からの出前授業、部活動での指導依頼があれば積極的に向向している。</p> <p>学院案内も在校生や卒業生のメッセージや1日のスケジュールを載せて希望する学科の特色や将来像が分かるよう工夫している。</p> <p>入学選考は適切かつ公平な基準に基づき実施されている。また、試験ごと学科ごとの合格率、充足率、前年比等も分かるように情報の共有が図られている。</p> <p>学納金については他校と差はなく妥当なものとなっている。</p> <p>家計急変世帯への授業料の免除制度や学業優秀者の特待生制度など導入している</p>	<p>奨学金（日本学生支援機構）を利用する学生が過半数を超える中、保護者等の負担軽減のため一括、二分割に加え十分割での学納金納付を実施。十分割納付 40%</p>

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎 聖英
--------	-----------	-------	-------

7-24 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
7-24-1 学生募集活動は、適正に行われているか	5	定期的に県内外の高校を訪問し学生募集を行っている。また、各種ガイダンスにも積極的に参加	特になし	学院案内パンフレット 受付記録(教務システム資料請求・出願者登録) 広告物
7-24-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	5	学院案内やホームページ等は工夫を凝らし、分かりやすく作成している	特になし	学院案内パンフレット ホームページ
7-24-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	5	メールや電話による問い合わせ対応・進学ガイダンス・高校訪問・個別の学院見学等。	特になし	学院案内パンフレット 受付記録(教務システム資料請求・出願者登録) 各種印刷物
7-24-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	3	一部の学科では定員を満たすことが出来ていない。	教員を含めて学校ごとのガイダンス等に出向いている。 現場の理学療法士や作業療法士からの紹介をお願いしている	
7-24-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	5	学院案内に全て記載されており内容も分かりやすくなっている。 ホームページ上でも閲覧できる。 就職先については学内に掲示		学院案内パンフレット 教務システム ホームページ

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
CM や看板の設置など広告媒体を使用した募集活動も行っている。 いかにオープンキャンパスに来てもらうか、内容を含めて今後検討していく必要がある。	

最終更新日付

2018/5/31

記載責任者

石崎聖英

7-25 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
7-25-6 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	入学選考は募集要項に記載している基準により試験を行っている。面接試験は複数の面接官で行う。入試判定会議により合否を決定する。	特になし	募集要項 教務システム
7-25-7 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	全職員がデータで情報を共有し、正確に把握している。	特になし	教務システム 職員掲示板
7-25-8 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	5	他校の学納金ともさほどの差は無く、妥当なものとなっている。分割納入制や、学院オリジナルの特待生制度等もあり、学費に関するサポートシステムは整っている。	特になし	学院案内パンフレット 募集要項

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考にあたっては募集要項どおりに実施し、適正かつ公平に審査している。 学費に関するサポートシステムも整っているため、それらを利用し金銭的負担を軽減することができる。	医療従事者を指すものとしての資質を重要視し、全ての試験で面接試験を実施している。

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>平成 29 年度の入学者数が 215 名で前年に比べ△37 名、在籍数も△25 名となり年々学生数の減少が続いている。また、年間の退学者数も 40 名を超えている。</p> <p>学院の特色を打ち出し定員数の学生の確保と退学者を減らす授業等の取り組みが必要となってくる。</p> <p>また、各種費用の削減、見直しも合わせて実行しなければならない。</p> <p>予算に関しては、補正予算を組むなどして妥当に執行されており、決算等についてはホームページに掲載し閲覧できるようになっている。</p>	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎 聖英
--------	-----------	-------	-------

8-26 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
8-26-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	入学者が前年度より減少している。	主な収入源が学納金となる。入学者を増やす為に学校独自の特色を多方面にアピールし学生数を安定させる。 また、退学者をさらに減少させるための対策が必要である。	決算書
8-26-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	4	補正予算を作成し、理事会評議委員会を開催し公表している。	四半期ごとに担当者内で内容を確認し、外部専門家による報告が必要だと思われる。 また、管理職以下の教職員にも財務の現状を伝えることも必要。	決算書 補正予算書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
懸念されていた入学者の減少が進んでいる。18歳人口の減少や高卒新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐えうる財務基盤の構築を行う必要がある。 退学者は微減しているが継続した安定収入の面で問題あり。 また、備品の老朽化が多々あり、突発的な出費が予想される。	借入金、金利の見直し。経費節減の継続。

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

8-27 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
8-27-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	4	予算書に基づき有効に使用されている。	建物・備品等に老朽化が進んでいるがそれぞれの建物の経過年数、使用頻度により出費の予測が難しい。日頃の点検等により出費に備えたい。	決算書 予算書
8-27-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	4	補正予算を作成し、定期的に見直しをしているが、平成 28 年の熊本地震の影響もまだ多少あった。	支出、予算執行状況を月次で確認することが望ましいと感じる。	決算書 予算書 補正予算書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
補正予算を作成し定期的に見直しているが、予算執行状況を月次で確認することにより計画的に執行されると思われる。	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

8-28 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
8-28-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	4	決算時の会計監査及び毎月の会計検査が行なわれた。毎月の会計検査は担当者のみで行っている。	定期的な内部監査を行い関係者全員が把握しておく必要がある。	
8-28-6 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	5	財務情報(資金収支計算書並びに貸借対照表)はホームページ上に公開している。		ホームページ

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
決算時は監事による監査を受けているが毎月の会計検査は担当者のみで行われているので定期的な内部監査を行い都度対応出来るよう監査を受ける側の体制づくりが必要である。	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

基準9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校教育法や専修学校設置基準、厚生労働省の養成施設指定規則などの関連法令や学則並びに諸規定に基づいて適正に運営している。</p> <p>個人情報については管理されている。学生の実習に伴う患者様等の個人情報保護対策については実習前のオリエンテーション時に周知徹底している。紙媒体での患者様等の個人情報については外部業者に委託し適切な方法により廃棄処分している。</p> <p>自己点検・自己評価については規定を設け、定期的の実施しホームページ上で公開している。</p>	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎 聖英
--------	-----------	-------	-------

9-29 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
9-29-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	関係法令を遵守し、適正になされている。	教職員間で共通認識を持ち、今後も適正に運営していく。	コンプライアンスに関する規定
9-29-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	3	教職員、及び学生に啓発活動は実施されていない。	教職員に関しては担当者毎に把握している。学生に対しては、今後実施を検討する必要がある。	コンプライアンスに関する規定

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専修学校設置基準等については遵守されている。法令に関しては、学生にどのレベルで啓発活動を実施するのか検討する必要がある。	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

9-30 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
9-30-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	鍵付き書庫に保管してある。 しかし、教職員であればデータ化してある学生の個人情報を簡単に閲覧することが可能である。	データ化している個人情報については漏洩が懸念される。	個人情報保護規定 プライバシーポリシー
9-30-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	ガイドブック等を配布している。また、実習の前には学生に対し個人情報の取り扱いに関して指導を行っている。	教職員に対して個人情報の取り扱いの研修会等が必要。	個人情報保護に関する誓約書 (実習用)

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
データ化された事により、教職員であれば誰でも閲覧可能である。情報漏洩に更に注意が必要。また、学生自身が知り得た個人情報の取り扱いについても嚴重注意し、指導していかなければならない。	SNS の普及により個人情報の発信、受信が簡単に出来るようになった。医療人として知り得た情報を安易に他者へ漏洩する事の危険性を十分に伝えていく必要がある。

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

9-31 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
9-31-5 自己点検・自己評価を定期的に実施し、問題点の改善に努めているか	4	毎年自己点検・自己評価を実施している。問題点の改善については出来ている箇所もある。	評価の低い箇所については引き続き改善していく必要がある。	自己点検・自己評価実施規定
9-31-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	5	確立されている。	特になし。	自己点検・自己評価実施規定 学院ホームページ
9-31-7 自己点検・自己評価結果は適切に公開されているか	5	適切に公開されている。	特になし。	自己点検・自己評価実施規定 学院ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今後も継続的に自己点検・自己評価を行い、学院運営の改善に努めなければならない。	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

基準 10 社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>例年通り地域高齢者向けの転倒予防教室を学院講堂で行い、地域住民と学生の交流を図っている。ボランティアにおいては、介護施設等からの夏祭りのお手伝いや各種スポーツ大会における教員・学生派遣など積極的に活動を行っている。</p> <p>講堂や各種実習室は各種協議会、関係団体、卒業生などに開放し研修会、勉強会の場として活用いただいている。</p> <p>教員においても専門分野における非常勤講師や特別講師などの依頼を受け高校や関係団体の授業、研修会などに出向いている。</p>	

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎 聖英
--------	-----------	-------	-------

10-32 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	*点検の 進み具 合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
10-32-1 学校の施設開放他、広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	5	教育機関、団体が学校施設を利用してセミナーや講習会を実施している。また、地域住民の方を対象に転倒予防教室等開催し学生との交流を図っている。		施設使用願（外部）
10-32-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	5	学校の施設で地域住民の方に転倒予防教室を開催している。卒業生や PT・OT の勉強会も実施している。		年報 施設使用願
10-32-3 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	4	外部の講師を招いて、特別講演会などを年に数回開催し、社会共生の意識行なっている。		学生用掲示板
10-32-4 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	5	警察OBの方による護身術の授業や警察官に来ていただき交通安全講習会を実施している。その他に関する問題についてはポスター掲示などにとどまっている。	情報提供にとどまらず具体的な取り組みを行う必要がある。	学生用掲示板
10-32-5 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	5	医療、福祉施設からのボランティア活動の要請にボランティア委員会を中心に参加している。また、PT・OTの学生が障がい者スポーツの現場でサポート活動を行っている。	学生の参加者が固定されてきている。	院外活動申請書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育機関、団体、地域住民の方に施設を開放し勉強会や転倒予防教室等開催し積極的の交流を行っている。重要な社会問題対しても積極的に取り組む必要がある。	授業の一環として地域高齢者を対象とした転倒予防教室を定期的で開催し学生と地域住民の方との交流を図っている。また障がい者スポーツの現場でサポート活動を行っている。昨年から献血活動も開始した。

最終更新日付	2018/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------